

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日:2020年12月29日

保護者アンケート回収率73.53%(保護者の評価欄は回収分で占める割合です。)

事業所名:すまいる・きつず松陽サービス  
種類:放課後等デイサービス

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	利用定員は10名で、基準に基づいたスペースを確保しています。活動内容によって、部屋を分けたり、戸外活動を行うなどニーズに添えるように努めています。	はい…96%    どちらともいえない…4%	感染症対策を徹底しながら、限られた空間を工夫して安全に過ごせるように活動を展開していきます。
	2 職員の適切な配置	基準の人員配置で子ども達の様子に配慮しながら安全に過ごせるようにしています。	はい…92%    どちらともいえない…4% わからない…4% どの方がどれくらい専門性があるのかわからない	建物の形態上、死角になる部分もありますが、職員同士の連携で子ども達の様子を把握できるように努めています。職員は、児童発達支援管理責任者1名 児童指導員 4名 指導員2名となっています。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	本事業所のある建物はエレベーターのない雑居ビルの3階という環境であることからバリアフリー化されていません。歩行等に課題のある利用者については指導員が寄り添い安全面に気を付けながら、訓練として利用しています。情報伝達については、視覚的支援を活用しながら利用児童の特性に合わせた声掛けを行い、スムーズに行動出来るようにしています。	はい…80%    どちらともいえない…16% わからない…4%	利用児童の様子を確認しながら子ども達が安心して利用しやすい環境作りを継続して行っています。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	業務チェック表を活用し環境整備に漏れがないように清潔で心地よい生活空間を確保出来るように努めています。今年度に関しては、さらに消毒用のチェックリストも整備し、送迎車の換気や消毒なども徹底して行うようにしています。	はい…96%    どちらともいえない…4%	感染症対策の徹底を継続し、利用児童にも衛生習慣が身に着くような促しを継続していきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	業務終了後の振り返りや月一回のスタッフ会議において指導員同士が積極的に意見を出し合い業務改善に繋げています。		今後も継続して職員間で意見交換がスムーズに行えるような環境づくりを心がけていきます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	第三者評価機構による評価や2018年の県の実地指導を受け、それぞれの評価結果を全従業員で確認し業務改善に繋げています。		今後も継続的に第三者に外部評価を受け、業務改善に繋げています。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	内部研修については、年間計画を立て取り組んでいます。外部研修についても積極的に参加するように情報収集を行いスタッフ間で共有するようにしています。今年度は、コロナ禍の為、時間の確保や外部に出ていくことが難しく、オンライン研修に参加出来るように取り組んでいます。		年間計画を立て社内研修を継続していきます。また、社外研修などにも積極的に参加できるようにし、職員の質の向上に努めていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	契約時にアセスメントを行い、年2回のモニタリングや日々の支援の中で知れた児童・保護者のニーズや課題をミーティングで確認し、ケース会議で分析し、放課後等デイサービス計画の作成を行っています。	はい…100%	今後もアセスメントを行いモニタリングを繰り返しながら児童と保護者のニーズを確認し課題を分析し、放課後等デイサービス計画を作成していきます。
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	面談等で児童や保護者のニーズを確認し、ケース会議などで検討しながら個別と集団の組み合わせた内容の放課後等デイサービス計画を作成しています。	はい…96%    どちらともいえない…4%	今後も子ども達の状況を確認しながら活動内容を検討し計画に盛り込んでいきます。
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	発達支援・家族支援・地域連携など大項目を決め、それぞれに具体的目標を設定し、支援内容や留意項目・支援機関などを記載しています。	はい…100%	今後も継続して行っていきます。
適切な支援の提供	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	保護者の同意が得られた放課後等デイサービス計画は全職員と共有するようし、個別記録(フローシート)にも支援内容の記載を行い、日々の活動で計画内容が確認できるようにまた、記録に残せるように行っています。		今後も放課後等デイサービス計画の内容を確認しながら適切な支援が行えるようにしていきます。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	月1回のスタッフ会議において活動プログラムを全員で確認しながら担当を決めて進めています。また、前月の振り返りも行い、改善点や注意点を明確にし、次の活動プログラム立案に繋げています。		年間計画を充実させ、各児童の支援内容に沿った支援が出来るようにプログラム立案を行い活動出来るようにしていきます。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日、休日・長期休暇では、サービス提供時間は異なっています。長期休暇中は、公共施設などを利用する経験や事業所間交流など平日の利用時間帯では経験出来ないさまざまな体験活動を通して経験値の向上を目指して取り組んでいます。今年度は、コロナの影響で公共の場への外出が難しい状況でしたので、事業所内で工夫し、「作りあげることや体験すること」が出来るようなプログラムを検討してきました。		今後も児童や保護者のニーズを確認しながら、さまざまな経験値の向上を目指して支援していきます。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	地域の行事や季節を感じられるようなプログラム作りをしています。利用児童の声も大切に受け入れながら計画に反映しています。月1回の絵画教室は外部講師に来ていただいています。	はい…92%    どちらともいえない…8%	さまざまな情報収集を行い、新しい取り組みに繋げるように努めていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
(続き)	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	スタッフ会議(月1回)で決定した内容を基に、日々のミーティングで、活動の進行状況や前日の振り返りを踏まえ、各指導員の役割と利用児童の注意事項などを確認するようにしています。	今後も児童の状況や活動状況の確認を行いながら活動を展開出来るようにしていきます。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	日々の振り返りは、日報に記載し記録として残しています。勤務日以外の様子も全職員で確認出来るようにしています。定例のスタッフ会議では、1か月の取り組みの振り返りを全職員で行い情報共有を行っています。	今後も継続して取り組んで聞きます。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日々の支援については、支援内容を理解し、振り返りで情報共有しながら記録の記入を行い、ケース会議において検討・改善に努めていきます。	今後も継続して取り組んでいきます。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的にケース会議においてモニタリングを行い、保護者への説明をしています。その際にご家庭や学校の様子や課題、本人や保護者の要望を聞きながら放課後等サービス計画の見直しを行っています。	今後も継続して取り組んでいきます。
関係	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	サービス担当者会議には、児童発達支援管理責任者が可能な限り積極的に参加し、保護者・相談専門員・関連事業所・学校と連携を積極的に参加しています。必要に応じて直接支援している指導員の同行する場合があります。	今後も保護者・学校・相談専門員・関連事業所などと連携しながら統一した支援を行えるよう積極的に参画させて頂きます。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
機関との連携	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業等へ移行する子ども達については、それまでの支援内容等の情報を積極的に提供しています。		今後も継続して取り組んでいます。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	自立支援協議会など会議に参加し、児童発達支援センター等専門機関との連携、研修などの情報収集を行っています。今年度は、コロナの為会議や講演会の中止などが相次ぎました。		今後も積極的に会議の参加や受講(オンライン含む)に促進していきます。
	7	児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現状では、障がいのない子どもと活動する機会の提供には至っていません。	はい…33% どちらともいえない…21% いいえ…4% わからない…38% 白紙…4% ないように思うのは、気のせいかも??	児童・保護者のニーズを確認しながら検討していきます。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	当事業所の入居しているビルには様々な店舗があり、送迎時など出会う機会は、積極的に挨拶するように心がけています。行事(ハロウィン)には、コロナ禍においても積極的に協力して頂いています。また、公共機関での作品展も行っています。		地域に開かれた事業所運営を目指して積極的に地域活動に参加できるようにしていきたいと考えています。
	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	支援内容、利用負担等については、重要事項説明書に記載し、契約時に内容と説明をしています。また、随時不明な点については、内容についての確認を行い丁寧に説明するように努めています。	はい…100%	今後も継続して取り組んでいます。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	契約時に放課後等デイサービス計画を作成し、保護者に説明を行い同意を頂きます。その後は、6か月ごとに(必要な際には随時)モニタリングを行い、計画の見直し、面談にて説明を行い同意を頂いています。	はい…100%	今後も継続して取り組んでいます。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	送迎時や連絡帳、面談時に事業所での様子をお伝えしています。相談や困りごとは随時お聞きし、一緒に考え子どもとの向き合い方や保護者のストレスを和らげるように相談に応じています。	はい…58% どちらともいえない…21% いいえ…4% わからない…38%	今後も継続して取り組んでいきます。ペアレントトレーニングについては、研修に参加し指導員のスキルアップ出来るように取り組んでいきます。



区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責任・連携支援	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	日々の連絡帳や送迎時において状況をお伝えしています。また、モニタリング時には、詳しく説明し、共通理解しています。	はい…96%    どちらともいえない…4%	今後も継続して取り組んでいきます。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	日々の連絡帳や送迎時、または面談時の保護者の話しに寄り添うように心がけています。内容によっては、相談専門員や関連機関とも連携を行いながら対応するようにしています。	はい…92%    どちらともいえない…8%	今後も保護者の思いに寄り添い丁寧な対応に努めていきます。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	毎年定期的に保護者会を開催していましたが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催することが出来ませんでした。その代替えとして、秋に事業所作品展を開催しました。	はい…63%    どちらともいえない…8% いいえ…8%    わからない…21%	今年度は、新型コロナウイルスの影響で実施できていませんが、今後は開催方法を模索しながら、保護者同士の連携が出来る取り組みを検討していきます。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情・相談対応マニュアルを作成し、それに基づき迅速かつ適切に対応できるようにしています。契約時には、本事業所だけでなく、行政機関を含めた苦情窓口を必ず保護者にご案内するようにしています。	はい…92%    どちらともいえない…4% わからない…4% コロナの為	今後は契約時だけでなく、保護者会などで周知出来るようにしていきます。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	言葉だけでなく視覚的な支援を取り入れながら、個々の状況に応じた伝達方法を模索しています。保護者への連絡については、連絡帳をベースに電話での対応やお便りで伝えています。	はい…96%    どちらともいえない…4%	今後も継続して取り組んでいきます。また、ICT活用なども視野に入れながら検討していきます。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	月1回のお便りを発行し、文章だけでなく写真を入れて日々の活動風景を伝えています。行事予定などについても掲載しています。日々の連絡は連絡帳にて行い、送迎時や電話連絡も随時行っています。	はい…92%    いいえ…4% わからない…4%	今後も継続して取り組んでいきます。また、ICT活用なども視野に入れながら検討していきます。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	契約時に書面にて同意を頂き、写真の取り扱いについても事前に確認を行うようにしています。書類の取り扱いについても書庫の施錠を行い十分な対応に努めています。	はい…100%	今後も個人情報の取り扱いには、十分に配慮し対応していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各種マニュアルを作成して事業所に常設し、それに基づき社内研修などを行いながら、職員に周知するように努めています。今年度は、ご家庭・事業所で共有出来るような安心・安全マニュアルを制作し、各家庭に配布しました。	はい…92%    どちらともいえない…8%	今後もマニュアルの周知徹底が出来るよう、継続して取り組んでいます。また、社会情勢により変更が出る場合には、都度マニュアルを変更・周知出来るよう取り組んでいきます。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年に2回(火災・震災)を想定した避難訓練を行っています。また、日ごろから災害のニュースにふれ、意識できるように取り組んでいます。毎年長期休暇中には、加古川市防災センターにて、地震・煙避難・消化体験を児童・指導員共に行ってきましたが、今年度は、コロナの為行くことが出来ませんでした。	はい…100%	今後も継続して様々な災害に対応できるような災害を設定した訓練を行っていきます。また、その内容を連絡帳やお便りを通じて報告していきます。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待防止マニュアルを策定し、社内・外での研修にも参加し、職員への周知徹底に努めています。日々のミーティング、振り返りやスタッフ会議で支援姿勢について話し合いが持てるように心がけています。		今後も社内外研修に積極的に参加し、職員全体で日々意識し、適切な対応が出来るように取り組んでいきます。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	日々の振り返りなどで児童の様子を把握しながら、会議にて確認・検討し、放課後等デイサービス計画に記載します。その内容を保護者に説明し、同意をいただきます。		今後も継続して取り組んでいきます。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	食物アレルギーについては、契約時にアセスメントの中で聞き取り、対応方法を保護者に確認しています。該当児童の利用日には、その他の児童のおやつも同様に配慮するなど細かな対処方法についても確認しながら対応しています。また、個別の緊急対応マニュアルを作り職員に周知しています。		今後も保護者にご協力いただき、個別の緊急対応マニュアルを更新する等、継続して取り組んでいきます。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット事例が発生した際には、振り返りで内容を確認し、今後の支援にいかせるようにしています。事例内容は、書面に記載し事例集としてファイリングし、いつでも職員が見れるようにしています。		今後も安心、安全で過ごせるようにヒヤリハット事例集を更新し取り組んでいきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
満足度	1 子どもは通所を楽しみにしているか	日ごろから子ども達に寄り添い、言葉や態度の観察し、保護者のニーズなども面談等で確認しながら活動を楽しみながらそれぞれの課題に取り組めるような活動を進めていくようにしています。事業所外部の方々の力もお借りしながら進めていますが、コロナの影響で難しいところもありました。	はい…98%    どちらともいえない…4%	コロナ禍での生活スタイルを身に着けながら、安全に楽しく過ごせるよう取り組んでいきます。
	2 事業所の支援に満足しているか	日々のミーティングや振り返りを通して障がい特性を理解し、児童の様子を確認しながら職員通しが意見交換しやすい環境づくりに努め、より良い支援を追求出来るように努めています。また、保護者との情報共有も連絡帳などを通して行っています。	はい…100%	今後も職員同士が活発に情報交換を行い、より良い支援策を追求し、統一した支援を継続していけるよう取り組んでいきます。